

✓ 感度は合わせましたか？

- ▶ オモリが映る感度にすることで棚合わせがしやすくなります。

仕掛けを落としながら感度 **高** **低** を操作します。

オモリが映る程度の感度に調整します。



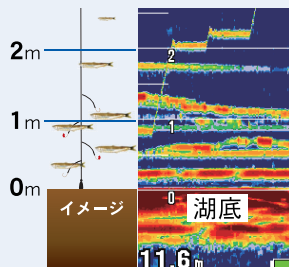
? 「うまくオモリが映らない？」

- ・ 魚探に映りにくいオモリかもしれません
- ・ 水の流れや風で仕掛けが魚探の真下からずれているかもしれません。

✓ 逆スケール表示 (拡大画面) とは

湖底0mから1m、2m、3m…と距離スケールを表示。
オモリ位置から、仕掛けの長さ、ワカサギの位置を
イメージできます。

メニュー2 ▶ その他魚探設定 ▶ その他魚探表示設定 ▶
逆スケール をONにします



ワカサギモードはONになっていますか？

- ✓ かんたんボトムサーチ / 逆スケール表示 / TD08周波数切替などの機能が使用できるようになります。

STEP 1

<メニュー2>

- 1 魚探画面の色 ▶
- 2 拡大機能 [OFF]
- 3 **その他魚探設定** ▶
- 4 地図の向き [ノースアップ, ユースアップ]
- 5 フロントライト [OFF, ON]
- 6 地図表示設定 ▶
- 7 アラーム設定 ▶

[メニュー]:メニュー終了(2秒押でメニュー3)

STEP 2

<その他魚探設定>

- 1 魚探送り速度 [停, 1, 2, 3, 4, S]
- 2 魚探停止 ▶
- 3 フィッシュマーク [OFF, ON]
- 4 底質判別 [OFF, ON]
- 5 拡大倍率 [×2, ×4, ×8]
- 6 魚探の画面分割 [□, ■, □]
- 7 その他魚探設定 ▶
- 8 **魚探特殊設定** ▶

[メニュー]:メニュー2へ戻る

STEP 3

<魚探特殊設定>

- 1 クリーンコー [OFF, 弱, 強]
- 2 パルス幅 [短, 中, 長]
- 3 吃水調整 [0.0m]
- 4 オートレンジ 最大深度 [30m]
- 5 オートゲイン [標準, 高め]
- 6 **モード** [ワカサギ]
- 7 周波数 [200kHz]
- 8 ゴースト低減 [OFF, ON]

[メニュー]:前のメニューへ戻る

はじめに **2** を2回押します。

<メニュー2>が表示されるので

3 その他魚探設定で **2** を押します。

8 魚探特殊設定で **2** を
押します。

6 モードで「ワカサギ」を選択し
メニューを3回押すと設定完了です。
(メニュー画面が閉じます)

✓ かんたんボトムサーチはしましたか？

- その場所に合った拡大位置・水深位置にセットします。

オート を長押しします。

画面に「水深サーチ中」の表示約3秒です。

通常画面(右画面)と拡大画面(左画面)が

水深に合った状態になります。

オート

3秒(長押し)

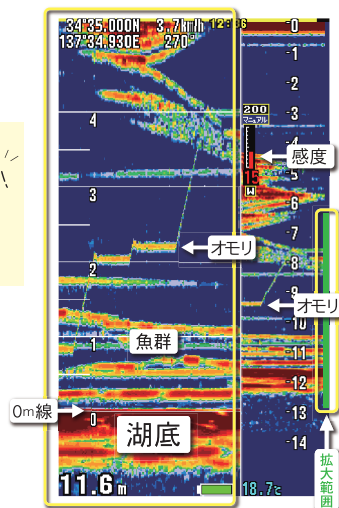
? 「うまくボトムサーチできない？」

- 魚群などほかの反応を湖底と誤認識しているかもしれません
- 水深が浅すぎる / 深すぎるかもしれません。
 - 水深が安定してから再度ボトムサーチをしてください

*魚探画面が表示されている時のみ有効です

*補助機能のため、サーチ後に**深度位置・拡大位置の調整**が必要です。

▶次項をご確認ください



左

拡大画面

◎画面の緑バーの範囲を拡大して表示します

右

通常の魚探画面

深度位置・拡大位置 を手動で調整するには

✓ 深度位置

深度 **浅** **深** を押して通常の魚探画面(右画面)で湖底がなるべく下にくるように調整します。

浅
深
深

✓ 拡大位置

▲ ▼ を押して拡大範囲を設定します。

拡大画面(左画面)を見ながら緑のバー(右画面)の位置を調整し

湖底の反応と逆スケールの0m線が重なるように設定しましょう。

